



宇宙との窓口 パラボラアンテナ

「東信署」ここは蓼科山の北東に位置する大曲国有林、カラマツ林の山道を走行していると突然目に飛び込んでくる巨大なパラボラアンテナ、一気に気持ちが高ぶる。何かしら胸が高鳴るような不思議な光景である。車でアンテナの真下まで行ける。日によってアンテナは向きを変え、常に「ゴ〜」という音について上を見上げてしまう。

ここは、臼田宇宙空間観測所という、文部科学省宇宙科学研究所の付属施設です。

この施設は、惑星や彗星のような天体に接近して観測を行う深宇宙探査機に向けて動作指令を送信したり、探査機からの観測データを受信するために建設されました。都市雑音などの妨害電波が少なくこの地が選ばれ、一九八四年十月から運用しており、施設の中核をなす大型パラボラアンテナは、直径が六十四メートル

射鏡を有し、総重量は一、九八〇トンとのことです。

この観測所が追跡する日本の宇宙探査機は、我が国初の人工衛星で一九八五年一月八日に打上られた「さきがけ」をはじめ、「すいせい」、「ひてん」、「はるか」など現在八機あるとのこととです。

このほかにも、様々な宇宙波を解析しており、いつか地球以外の生命体が発した電波を捉えることもあるかもしれません。

また、ここには、太陽系の一部が五十五億分の一の模型で展示されています。

宇宙空間の旅に一度訪れてみませんか。

◆アクセス

要車 国道一四一号線 佐久市臼田下小田切信号を西へ向かい約四〇分、最寄り駅は小海線臼田駅。

施設の案内看板



パラボラアンテナと関連施設



突然見えるパラボラアンテナ